

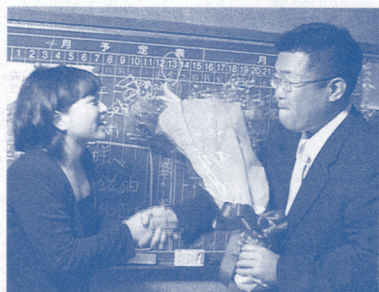
中村かずひこ通信



【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.16
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

皆様のご支援により...

市議選で 2期連続 トップ当選!



4月22日(日)に行われた真岡市議会議員選挙において、中村は2247票を獲得し、4年前に続いて2期連続でトップ当選を果たしました。

今回の選挙戦に先立ち、中村は5つの指針と20の具体的な政策を『中村的マニフェスト』として掲げました。そうした行動の背景には、北関東自動車のインターチェンジ等、大規模な公共事業の完了を間近に控え、今後真岡市は新しい発想でのまちづくりが必要になるという思いがあったからです。

1票1票に込められた熱い気持ちをしっかりと受け止め、これからの活動に全力で挑んでいきたいと考えております。
(裏面に関連記事)

市民と市政のかけ橋になりたい!

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!

お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!

総務常任委員会 委員長に選出されました

5月11日(木)に開催された臨時議会で、議会の主だった役職が決定。中村は総務常任委員会の委員長に選出されました。

市町合併、議会での『一問一答方式』の採用、市民と行政とのパートナーシップの構築等、取り組むべき様々な課題がある中で、委員の皆さんとともに活発な議論を進めていくことができれば、と考えております。なお、総務常任委員会のメンバーは以下の通りです。

◎中村かずひこ ○入江巡一議員
大根田悦夫議員 浅山俊夫議員 田上稔議員 西田一之議員
(◎、○はそれぞれ正副委員長)

ご存知ですか?

真岡市議会は常任 委員会も傍聴できます

より開かれた議会を目指して、ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。

※なお、使用部屋の関係上、傍聴できるのは2〜3名程度です。

※傍聴する場合は、当該委員会の委員長の許可が必要となります。

お申し込み・お問い合わせは
議会事務局 TEL. 83-8176 まで

Check!!

改選前の活動報告

2月定例議会

期間 2/20 ▶ 3/16

1期目の締めくくり!

2月議会一般質問

2月定例議会の質疑・一般質問が2月28日(水)、3月1日(木)の2日間にわたって行われました。

中村は3月1日の2人目として登壇し、



1. 行財政改革に関する今後の取り組みについて
2. まちづくり・景観保全に関する今後の取り組みについて
3. 整備計画中の市関連施設について
4. 真岡小学校と真岡西小学校の学区見直しについて

の計4件について一般質問を行い、論戦を展開しました。(中面に関連記事)

平成19年度 予算特別委員会

また中村は、3月14日(水)に行われた「平成19年度予算特別委員会」において、下記の6件について質疑を行いました。

中村が行った質疑の内容

1. 「はつらつ地域づくり事業費」について
2. 「情報センター費」について
3. 「市民活動推進センター費」について
4. 「心身障がい児通園ホーム事業費」について
5. 「市民会館費」について
6. 「自然教育センター費」について

「見逃した」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜15号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。

次回「中村かずひこ通信」は
7月8日(日)
発行予定です。新聞の折り込み
チラシをご覧ください。



質問:中村かずひこ

中村かずひこ議会レポート

2月議会一般質問

答弁: 福田武集 市長
佐藤 務 教育長

1. 行財政改革に関する今後の取り組みについて



質問 財源確保を目的として、市の公共施設や物品等のスペースを活用し、**広告事業を実施する自治体**が増えている。昨年6月議会で、このテーマについて一般質問をした時『全国の自治体の取り組み状況を見ながら判断したい』という市長からの答弁であった。その後、本格的な実施に向けて、**どこまで検討が進んでいるのか。**

答弁 行財政検討委員会において全庁的な洗い出しを行ったところ、『庁舎内の壁面』『広報紙』『公用車車体』については導入が困難と判断した。しかし、『ホームページ』への**バナー広告掲載**については、掲載方法の簡便さ等の理由から導入可能と判断し、**実施に向けて検討を進めているところ**である。

質問 現在、**真岡市には31の各種審議会が存在**している。福田市政ではこれまで、各種審議会の委員に公募制を取り入れてきた。しかし、いまだに**女性や若年層の委員が少ない**ことは課題であると思われる。今後どのようにして、女性や若年層の審議会委員を増やしていく計画なのか。

答弁 真岡市では『**附属機関の構成員の選任等に関する基準**』を定めている。その中で、各種審議会の委員について、**女性の割合を30%**、また40歳以下の**若年層についても積極的に選任**することを目指している。**女性の委員については**、現在24.3%まで達しており、**平成23年度にはほぼ達成**できるものと考えている。若年層については応募者が少ない状況なので、今後積極的に参画していただきたい。

質問 平成19年度の一般会計予算案で大変気になったのは、**真岡鐵道や真岡コンピュータ・カレッジに対する運営補助金**が、18年度と比べて**大幅に増えている**ことである。(真岡鐵道679万4000円→1144万3000円 コンカレ3837万3000円→4954万円)こうした補助金が、経営を立て直すために使われるのであれば理解できるが、単純に損失を埋め合わせるためだけのものでは納得しかねる金額である。**経営自立化に向けて新たな取り組みを行うべきではないか。**

答弁 **真岡鐵道** 現在『真岡線利用促進キャンペーン』、『駅からハイキング』、『ホームページ開設』等に取り組み、平成18年12月の時点で**輸送人員は2.3%**、**運輸収入は8.6%増加**している。(真岡鐵道再生計画との比較で) **19年度は『車両広告の積極的な募集』、『観光施設とタイアップした割引キップの導入』**もを行い、収入増に結びつけていきたい。
コンピュータ・カレッジ 学生数の確保、増加を学校経営自立化に向けた最重要課題として捉え『**オープンカレッジ**』、『**学校説明会**』の開催、**学生募集専門員等による学校訪問**を引き続き行っていきたい。また、**4年制大学への編入が促進**されるよう、**国へ制度改正の要望**を継続していく。

2. まちづくり・景観保全に関する今後の取り組みについて



質問 大谷台町での**高層マンション建設**や、市内各地での**産業廃棄物関連施設の建設問題**等に代表されるように、法律にのっとった形で経済活動をしていながらも、結果的に住民にとっての『**住みやすさ**』がおかされているケースが増えつつある。快適な住環境を守るために、**真岡市でも『まちづくり条例』**(自治体が独自に土地利用の規制、誘導の仕組みを整えるもの)を**制定し、新たなルール化**をすべきではないか。

答弁 環境保全や快適な住環境づくりを進めるために『**まちづくり条例**』を制定し、土地利用行為、建築行為を規制することは、**財産権の制約にもなる**。そのため、規制を受けるエリアの住民、土地所有者の**コンセンサス**を得ることが絶対条件であり、**慎重な対応が必要**であると考えている。

質問 『**もおか環境パートナーシップ会議**』は、現在25名のメンバーで構成されている。これまでの主だった活動としては、大久保川周辺の自然再生が挙げられるが、設立から1年が経過し、次のステップに移行すべき時期に来ていると思う。**自然景観の保全・再生について、今後どのような取り組みをしていくのか。**

答弁 『もおか環境パートナーシップ会議』は、事業者・市民・行政の協働のもと、環境の保全と創造に向けて取り組む組織として設立された。今後は、**同会議を中核としてボランティアの輪を広げ**、活動の充実化、**環境学習の推進**等が図られることを期待している。

質問 近年、各地の自治体で『**市民トラストの森**』等の名称で、身近な自然環境を保護しようとする動きが目立つようになった。真岡市も年々、森林等の減少が進んでいる。**企業や市民等からの寄付金と、市の拠出で基金を作り、民有平地林の買収等**を行い、市民に開放できるような事業を実施してはどうか。

答弁 広く市民参加によって基金を創設し、良好な自然環境を持つ土地を取得、保全を図る方法として『**トラスト運動**』があるが、**運営組織、資金確保、市民運動の高まり等の課題**も多いので、**今後研究していきたい**。

質問 県に事業計画書が提出されている、**感染性医療廃棄物中間処理施設**(松山町)、**産業廃棄物最終処分場**(南高岡)について、現在の状況と今後の見通しはどうか。また、**市としても独自の調査や、より積極的な県への働きかけは行って然るべきではないのか。**

答弁 **感染性医療廃棄物中間処理施設** **焼却炉プラントメーカーが倒産**したと、今年1月に県から連絡を受けている。しかし、今後も**事業者は計画を継続したい**考えのようであり、**市としては県と十分連携**を図って適切に対応していきたい。
産業廃棄物最終処分場 現在まで事業者側からの動きは何も見られない。今後、**5月21日までに事前協議書**が事業者から**提出されなければ**、県の廃棄物処理の指導要綱に基づき、**事業計画書を取り下げるか、再度出直すかのいずれかになる**とのことである。

3. 整備計画中の市関連施設について



質問 平成19年度に整備予定の『**市民活動推進センター**』について、**スケートセンターの休憩室を活用**する方向で検討されているが、**どのような機能**を持たせる計画なのか。また、他の候補地と比較して、**どのような優位性**があってスケートセンターが選ばれたのか。

答弁 市民が自由に立ち寄ることができる『**交流コーナー**』をはじめ、『**受付・相談コーナー**』、『**登録団体情報センター**』等を整備していく。センターには**専任の職員を配置**し、市民からの相談、市民活動に関する情報収集及び提供等の業務を行う。なお、候補地選定については、**交通の利便性、駐車場の確保、バリアフリーへの対応**が行われていること。さらに、**公民館、図書館等が周辺にある**ことを考慮し、最終的に**スケートセンターを選んだ**。

質問 平成18年度で閉鎖となるスケートセンターを改修し、多目的の屋内運動施設にする計画だが、具体的にはどの部分を改修するのか。また、屋内競技の中で使用可・不可の線引きを行うのか。

加えて、若年層の居場所作りという観点からスケートボードやインラインスケート等ができる設備を、同施設周辺に整備することはできないのか。

答弁 多目的な利用が可能な床にして、主にフットサルが行える『競技場』と、卓球、エアロビクス、スポーツダンス等に利用できる『多目的ホール』に区分した改修を計画している。使用可・不可の線引きについては、今述べた種目に対応した改修のため、利用できる種目は限定されるものと考えている。
なお、スケートボードやインラインスケート等のできる設備を、同施設周辺に整備する考えはない。

質問 平成19年度に計画している事業の中で、目玉の1つとされているのが『真岡木綿会館』の整備である。総事業費に約1億円もかけるが、投資に見合うだけの効果を期待するならば、2つの課題を克服しなければならないと思う。

①大型バスで来る観光客を受け入れる駐車場をどのように確保するのか。
②物産会館や金鈴荘等、周囲の歴史的建造物との景観調和をいかにして保っていくのか。

答弁 ①駐車場の確保については、今後関係機関と検討していきたい。
②実施設計の中で、建物の形状・外観等について、隣接する金鈴荘等の景観を壊すことのないよう十分検討していく。

4.真岡小学校と真岡西小学校の学区見直しについて



質問 真岡小学校、真岡西小学校の学区見直しについては、昨年7月に答申がまとめられ、その後当該地区(熊倉1・2区)の住民を対象に説明会を行ってきた。しかし、教育委員会の説明に進展がなく、地域住民が理解を深めてはいないように思える。

①これまでの説明会で、地域住民の理解は得られつつあると、教育長は認識しているのか。
②どういう状況に達したとき『理解は得られた』と判断するのか。
③『理解は得られた』状況に達しなかった場合、教育委員会はどのような対応をとるのか。
④『通学の弾力的な運用』(昨年12月議会での教育長答弁)とは、どのような児童に適用されるのか。

答弁 ①これまでの説明会で、地域住民から反対の意見等も出ており、必ずしも理解を得られていない状況であると認識している。

④地理的・身体的な理由をはじめ、いじめの対応や最高学年・特殊学級への就学等、児童・生徒等の具体的な事情に即して相当な理由がある場合、保護者の申し立てにより、就学する学校の変更や区域外就学を認めることができるという制度である。

※②、③については答弁なし。

要望

産業廃棄物関連施設について

松山町に計画中の施設については、今から4年前にも話が出ていたと記憶している。今回の2つのケースについても、完全に立ち消えになっていない可能性がある。

ぜひとも、今後の動向については、市としても厳しく監視をしていただきたい。

再質問



各種審議会の委員について

質問 若年層については単に努力目標にとどまっている。女性と同様に具体的な期限と数値目標を定めるべきではないのか。

答弁 例えばPTAの役員等の場合、団体からの推薦ということも可能かもしれないが、基本的に若年層については公募の形で参加を呼びかける以外にないと考えている。

市民活動支援センターについて

質問 『市民活動推進センター』の計画を聞くと、会議や作業をする場が設けられていない。

①そこに行く必然性というものが感じられないが、人が集まる『しかけ作り』のようにしていく考えなのか。
②平成22年までに市民活動団体を、現状の33団体から115団体まで増やすことを目標としているが、活動の場の確保は今も苦慮している状況である。団体の育成を考えているならば、活動の場の整備も必要になると思うが。

答弁 ①『市民活動推進センター』の主な役割は市民に対する助言、情報提供である。したがって、各団体のメンバーが多数集まるような場所ではないと考えている。

②現在、市民活動団体はそれぞれ活動拠点があり、さらに市内各所に地域公民館等も設けられているので、活動場所が不足しているとは考えていない。

学区見直しについて

質問 地域住民には十分な理解が得られていないのであれば、当該地域の代表者と話し合う協議機関の設置を検討すべきではないのか。

答弁 地元住民を対象とした5回目の説明会を予定(3月11日に開催)しており、今後も引き続き理解を求めていく。したがって、協議機関の設置は考えていない。

要望

各種審議会の委員について

若年層の審議会委員を増やしていく第1段階として、PTAをはじめ、青年会議所や商工会議所青年部等の各青年団体に一定の推薦枠を設ければ、人材発掘が可能になると考える。

市民活動推進センターについて

『市民活動推進センター』において組織間のつながりを作り、情報交換をしていくためには、多くの人が集まるしかけ作りは必要不可欠であると考え。ぜひ、そうしたことを今後検討していただきたい。

再々質問



学区見直しについて

質問 『真岡市小中学校学区審議会』の議事録を読み、各委員から出された意見で大変気になった点が…

ここで(30分)時間切れ!

本当は、「答申が出された後で当事者と最終調整を行うことを前提としているような委員の発言が目立つ。現在、地域住民に説明している答申の意味合いと大きく異なるように感じるが、教育委員会では当初、各委員に答申の性質をどのようなものと説明したのか?」と聞きたかったのですが…



'07 市議選活動費

『選挙ってどの位お金がかかるものなのか?』『本当にお金をかけなければ選挙に勝てないものなのか?』4年前に初出馬をした時、そんな単純な疑問が私たちの出発点にありました。より確かな政治風土の改革を求めて…。今回の選挙戦においても、期間中にかかった活動費について報告し、皆様からのご批評をいただければと考える次第です。

1.収入

項目	金額	備考
金銭寄付	385,000円	23件
物品寄付	164,040円	52件

合計 **549,040円**

2.支出

項目	金額	備考
人件費	283,000円	ウグイス嬢
家屋費	28,900円	事務所家賃、電話架設
通信費	2,975円	電話料
印刷・広告費	419,125円	公選ハガキ印刷代、看板、タスキ、アンブレタル料等
文具費	40,761円	二重画鋏、ナイスタック等
食料費	71,834円	運動員弁当代、茶菓子代
電気・水道	1,232円	
雑費	56,151円	イベントジャケット、薬品等

合計 **903,978円**

※返却された供託金、公費負担となった分のポスター代等は支出に含まれておりません。
 ※「会員拡大用リーフレット」等、政治団体の活動に見なされる支出については、今回は計上されておりません。(政治団体の活動費については、次号で報告いたします)



コラム むーむあっぴ

標題の言葉は、駒大苫小牧高校野球部が平成16年夏に初の全国制覇を果たした後、チーム全体で掲げたスローガンだと言われている。優勝する前と全く変わらないチャレンジャー精神を持ち続ける一方で、常に今以上の自分を目指して前に進んでいく…そんな心意気が伝わってくる言葉である。同校は翌年に2連覇を成し遂げ、さらに3連覇を狙った昨夏も決勝戦で敗れはしたものの、再試合に及び死闘を演じたことは記憶にも新しい。

市議選が終わって1ヶ月が経とうとしている。前回に続いて2000人を超える方々のご支持をいただけたことは、これまでの自分の政治姿勢や活動内容に一定の評価が得られたものと、自信につながったのは事実である。しかし、4年間の議員活動を振り返ると『あの時、もっとこうしていれば…』という反省点も、訴えてきた政策が実現できず歯ざりした経験も数多くある。単にこれまでと同様の活動を続けていくだけでは、1つ1つの課題を克服することは不可能であろう。

『変わらないこと 進化すること』

2期目への出馬について、あれこれ悩んだ2ヶ月間。決意してから投票日までの5ヶ月間。本当に色々なことを経験した。今振り返っても、決して“順風”な戦いではなかったと思う。年末年始には、不覚にも病院のベッドで過ごすということも経験してしまった。だからこそ、人の温かさ、有り難さを改めて痛感した7ヶ月間でもあった。

周囲のご友人・お知り合いにお声かけをさせていただいた方。ポスター貼りや選挙カーの運転に時間を割いていただいた方。声がかかるまでウグイス嬢として頑張っていたいただいた方。そして、自分が落ち込んだ時に励ましてくれた仲間たち…。2247票の背景には、そうした多くの人たちの支えがある。お礼の真似事など何もできないが、その分、自分自身が議員としてもっと進化していかなければ…と思っている。

『変わらないこと 進化すること』この言葉をそのまま、今後4年間の自分の目標として掲げていきたい。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

(振り込み先)
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこと活動目誌 (1月~3月)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1/6 真岡市消防団出初式に出席 7 成人式に出席 10 真岡青年会議所総会に出席 15 あいさつボランティア 30 国民健康保険運営協議会 | <ul style="list-style-type: none"> 3/1 質疑・一般質問2日目
※この日、2人目に登壇 2 大谷地区事業計画懇談会に出席 4 「伊夜日子会」奉仕作業に参加
真岡の自然観察会役員会に出席 5 あいさつボランティア 6 「ひばりの会」定例会に出席 7 建設常任委員会 9 真岡中学校卒業式に出席 11 真岡西小学区問題の説明会に出席 12 あいさつボランティア
予算特別委員会通告
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ 14 議員協議会
予算特別委員会で質疑
真岡青年会議所例会に出席 16 議員協議会
2月定例議会閉会 19 あいさつボランティア
真岡西小学校卒業式に出席 20 「ひばりの会」定例会に出席 |
| <ul style="list-style-type: none"> 2/2 中学校立志式に出席 5 真岡あいさつボランティア 6 「ひばりの会」定例会に出席 9 議員協議会 13 芳賀赤十字病院小児科病棟慰問(「ひばりの会」の活動として) 14 真岡青年会議所例会に出席 15 国民健康保険運営協議会研修(於:宇都宮市) 19 あいさつボランティア 20 議員協議会
2月定例議会開会 21 一般質問の通告書を提出
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ 28 質疑・一般質問1日目 | |